



大地

(じねんじょ通信)

発行者: 社会福祉法人じねんじょ
 発行日: 平成20年 7月 1日
 TEL : 083-252-2227
 FAX : 083-252-2259
 E-mail jinenjo@jinenjo.or.jp
 http://www.jinenjo.or.jp



「共に在るということ」

理事長 金原洋治

4月のフェスティバルには、多くの皆様にお越しいただき誠に有り難うございました。おかげさまで、晴天に恵まれ楽しい一日を過ごさせて頂きました。

「じねんじょ」は、「地域と共に在る」ことを理念の一つに掲げています。「生きる」というよりも「在る」ということばを選んだのは、「生きる」より「在る」の方が肩の力が抜けた感じがするし、生きている人の存在自体が空気のように感じるような言葉だと思い「地域と共に在る」を選びました。

利用者の方やご家族は、「障害が重くても地域の中で共に生きていきたい、暮らしていきたい」と願っておられますし、「じねんじょ」は、そのねがいを叶えるためのベースキャンプでもあります。私達は、地域の皆さんに、「じねんじょ」や利用者の方々を知っていただくことを大切に日々活動していますので、イベントなどで多くの方にお越しいただくことをとても嬉しく思っています。

また、「じねんじょ」がある生野町2丁目には、町工場や会社、スーパー、ドラッグストア、コンビニ、銀行、食べ物屋さん、郵便局など人々が多く集う場がすぐ近くに沢山あります。利用者の方は、日々の活動に必要な物品の買い出しや用事のために職員と一緒に出向いたり、散歩にいたり、時には、町内清掃もしています。これからも、日々の活動の中で、利用者の方々の様子や活動を知っていただき、自然に地域の人達と顔見知りになることができればいいなと思っています。

職員やボランティアさんは、最初は、何か自分にできることを障害がある人達にしてあげたいと思って利用者の方々に接された方が多いと思います。しかし、時間が経つうちに、支えていると思っていたら、いつのまにか、逆に支えられていた、元気を貰っていたということに気づく方も多いと思います。私もその一人です。うまく説明できませんが、きっと、お付き合いする時間が長く、深くなるにつれて、自然にそう思うようになるでしょうね。「共に在ること」や「共にある時」が大切なのだと思います。

最近、生野歯科の向かいのビルをお借りし、「じねんじょひろば」という看板を掲げました。まだ、その名前にふさわしい活動ができていませんが、現在は、主に陶芸、さをり織りの活動に使用しています。今後、開設日を増やし地域の方々との交流拠点としての活動を計画しています。その際は、お気軽にお立ち寄り下さい。

年間行事及び参加する地域行事

| | | | |
|-------|-------------------|----------|-----------------|
| 4月27日 | じねんじょフェスティバル | 10月 | 親子活動 |
| 6月28日 | 遊花フォーラム | 11月16日 | 下関市障害者交流卓球大会 |
| 7月6日 | 下関市レクリエーションボッチャ大会 | 12月 | 手をつなぐみんなの福祉フェスタ |
| 11日 | 親子宿泊懇親会 | | |
| 28日 | 下関市地域福祉推進大会(展示) | 平成21年 1月 | 成人を祝う会 |
| 8月 | 馬関祭り | 2月 | もちつき |



活動中の所在地

ポッチャ親睦大会

7月のポッチャ大会に向け、フェニックスさんと親睦大会を開催しました。和やかな雰囲気の中、ポッチャを通して交流を図りました。



マジックショー

学童メンバーの春休み。トイザラスさんをお招きし、マジックショーを披露していただきました。あっと驚くショーにみんな釘付けでした。



もちつき

毎年恒例、下関ライオンズクラブさん主催もちつき大会！今年は隣ビルのNestのみなさんにも参加いただきました。



買い物

じねんじょの日用消耗品は近所のセガミさんにお世話になっています。店員さんともすっかり顔なじみです。

じねんじょひろば

地図



「ますますの充実を願って」

「じねんじょ」は、私達子ども達にとって日常生活の場であり、かけがえのない場所です。その「じねんじょ」に、この春、新しい活動の場「じねんじょひろば」がオープンし、保護者の一人として大変嬉しく思っています。

4月に行われた「じねんじょフェスティバル」では、地域子ども達との交流の場として使われ、地域の方々にもその存在を知っていただけたのではないのでしょうか。これからも、「じねんじょ」を理解し、親しんでいただく場として活用していただきたいと思います。

そして、私達子ども達には活動の幅を広げる笑顔の場所にしていただけたらと思います。今までとは違った空間で、これまでの活動に限らず、職員の皆様と楽しく元気に活動を増やして欲しいと思っています。

また、保護者サークルの活動の場としても使わせていただき、感謝しています。

「じねんじょひろば」から、「じねんじょ」の活動が広がり、より充実し、発展していくことを心よりお祈りいたします。保護者としても、協力、支援していきたいと思ひます。

吉田利恵子（じねんじょ 吉田乃里子）

第5回 じねんじょフェスティバル

じねんじょフェスティバルを4月27日（日）に開催しました。

今回もメンバー、保護者、地域の方、たくさんの方々に参加していただき、ありがとうございました。

もちまき



ボッチャ



スタンプラリー



さをり織り体験



★リンゴスター



♪吉本バンド



おいしい屋台



～～フェスティバルに参加された保護者のコメント～～

★今年も「じねんじょフェスティバル」に参加でき、楽しい1日を過ごしました。いつもと違う賑やかな雰囲気の中でプリンを食べたり、似顔絵を描いてもらいました。途中、たくさんの方に声を掛けていただきとても嬉しかったです。

毎年、子どもがいつでも横になれるスペースまで用意してあり、スタッフの皆さん、ボランティアの方々の心配りに感謝感謝です。後のおとうさん会も盛り上がった様子。次回は、おとうさんパワーでじねんじょ屋台に挑戦してみてもいいかな？

神崎佳子（じねんじょ 神崎育美）

★4月27日、第5回「じねんじょフェスティバル」が行われました。今年は爽やかな春風の吹く中での開催で、寒い時期は体調も不安定になる重心のメンバーさんも皆元気に参加できた事と思います。さをり体験や青山庵の皆さんの本格的なお茶もあり楽しい催しの中、大人達が皆童心に戻り、白熱した毎年恒例のもちまきでは、大人も子どももおもちゃやお菓子を抱えて皆笑顔本当に楽しいフェスティバルでした。

藤本恵子（むく 藤本凌太）

★4月27日、日曜日、天候にも恵まれ、「じねんじょフェスティバル」が開催されました。スタンプラリー、ジャグリング、コンサート、陶器やさをり織り等の素敵な作品が展示されていました。そして、たこ焼きやフライドポテト、おにぎり、パンや竹の子、ジュース等の販売もありました。又、粘土で手形を作ったり、さをり織りも体験でき、抹茶も頂きました。最後に餅撒きがあり「こっちこっち」とわいわいと賑やかに終わりました。親子で楽しく過ごせたのも、関係者皆様のおかげです。スタッフの方々には大変お世話になり、本当にありがとうございました。

松重恵美子（むかご 松重達也）



「新法移行一年目の報告」

センター長 石塚忠志

平成19年度は障害者自立支援法の施行に伴い、知的障害者通所更生施設「じねんじょ」から生活介護サービス事業所「じねんじょ」へ移行しました。安定した施設運営と新たな施設サービスのあり方を検討することが大きな課題でしたが、利用者・保護者の方々のご理解ご協力や「じねんじょを育む会」、地域のみなさまのご支援をいただき、新年度を迎えることができ感謝しております。

今回はこの紙面を借りて、「じねんじょ」の事業のご報告をさせていただきたいと思っております。

「じねんじょ」では、平成18年度秋に、将来直面すると予測される問題に対応するために「将来構想委員会」を立ち上げましたが、平成19年度には、保護者のニーズの高かった「ケアホーム」と「就労支援」について焦点を絞って調査研究を行いました。具体化していくには多くの課題がありますが、一つずつ検証し、夢の実現に向けて尽力したいと思っています。

また新たに「平成20年度を考える委員会」を立ち上げ、日中利用メンバーが増加することを踏まえ、活動の場の拡大を目的に「じねんじょひろば」を近所にオープンさせました。この名前は職員全員で考えましたが、「ひろば」という言葉に、メンバー、職員、保護者、そして地域の様々な方と集える場所にしたという思いが込められています。現在、「ひろば」を活かした十分な活動が行えていませんので、今後は機能の拡大を図っていききたいと思っています。

最後に実際のサービス提供状況ですが、自立支援法の施行後、サービス管理責任者という職種が設置されました。このサービス管理責任者を中心に三者面談を実施し、個別支援計画の作成・評価を行なっています。私たちはメンバーの「今」だけでなく、将来の生活を見据え、地域での生活を組み立てていきたいと考えており、そのためには既存の地域資源の活用を促進していくと同時に、新たなサービスを開発していく必要性を感じています。

これからも全職員が「利用者へのよりよい支援」という原点に立ち、福祉の一層の充実を図ってまいりますので、みなさまの変わらぬご支援を心からお願い申し上げます。

じねんじょ内部研修報告

～毎月第3土曜日に実施中～

日々の支援に生かせるよう

勉強会を開催しております。

○2月から6月の研修内容

- 2月 口腔ケア、食形態について
- 3月 ボディメカニクスとじねんじょでの応用
- 4月 センターに関する福祉諸制度について
- 5月 基本的な健康管理について
- 6月 遊花フォーラム（公開講座）

○今後の研修予定

- 7月 ポジショニング、ムーブメント
- 9月 ふくふくゴックンの会（公開講座）
- 10月 コミュニケーションについて

じねんじょの“輪”

～じねんじょと繋がりのある方々から一言コメント～

★「じねんじょフェスティバル」に参加してみて、「じねんじょ」が本当に多くの人たちとつながっているんだなあと感じました。私達、リンゴスターもより多くの人たちと笑いと感動！？を分かち合えるよう活動していこうと思います。

（大道芸パフォーマンスチーム リンゴスター）

寄付者氏名（敬称略、順不同）

H20.2.1～H20.5.31現在

- ・重症心身障害者地域生活支援センター保護者会
- ・（株）落合商会
- ・やまぐち小児科
- ・じねんじょを育む会
- ・小川泰宏
- ・大平物産 SHU-CUP ゴルフコンペ

たくさんのご寄付を頂きました。ありがとうございました。

人事異動のお知らせ

新しい職員です。どうぞ宜しくお願いします。

| | | | |
|-------|------|-----|-------|
| 理学療法士 | 前崎勇輝 | 支援員 | 安井智恵 |
| 支援員 | 中村裕子 | 調理員 | 有浦壽恵美 |

退職しました。みなさんお世話になりました。

| | | | |
|-----|-------|-----|-------|
| 支援員 | 山本やよい | 調理員 | 木谷美登里 |
|-----|-------|-----|-------|

編集後記

この春「じねんじょ」は5年目を迎え、「じねんじょ通信大地」も10号という節目を迎えました。今号ではもう1度「じねんじょ」の原点を見直すべく、理念の1つでもある「地域交流」に焦点を当てて編集しました。

「もちつき大会」「じねんじょフェスティバル」には、多くの地域の方にも参加していただきました。

メンバーと外に出ると声を掛けてくださる方が増えてきています。こうした小さな地域交流も大切にしていきたいと思っております。

（編集部）